

日本スポーツ法学会第28回大会・プログラム

日本スポーツ法学会

- ◇ 日時:2020年12月19日(土)9時30分～
- ◇ 開催方法:Zoomを利用する完全オンライン方式
- ◇ 全体テーマ: オリンピック・パラリンピックの法的課題
～延期を経てさらに見えてきた「スポーツ」と「法」の現在地～
- ◇ 大会参加費:無料

[プログラム]

- 自由研究発表(Zoomミーティング方式、9時30分-11時30分) 司会:井上圭吾・八木由里
岡本大典・多賀啓

* 発表10分 質疑10分 ★は共同研究での発表者

1. 9時30分-「スポーツビジネスを題材とした講義内グループワーク
: 教育工学 (ID=Instruction Design) の見地からの検証と共に」
大阪経済法科大学 石上 敬子★
大阪経済法科大学 西脇 邦雄
株式会社RIKKA 芳中 千裕★

2. 9時50分-「2021年世界アンチ・ドーピング規程の主な変更点
-2.1項違反を中心として-」
Field-R法律事務所 杉山 翔一

3. 10時10分-「スポーツ事故補償制度の国際比較」
同志社大学 川井 圭司

4. 10時30分-「スポーツの国際移籍市場における若年者保護の在り方」
フェニックス法律事務所 山田 尚史★
表参道総合法律事務所 恒石 直和★
虎ノ門協同法律事務所 大橋 卓生
バックステージ法律事務所 富田 英司

5. 10時50分-「2020年 韓国『e-Sports振興に関する法律』改正に関する動向等について」
東京神谷町綜合法律事務所 金 弘智

6. 11時10分-「イギリスにおけるケアの義務に関する勧告に基づく
アスリート保護制度の改革について」
鹿屋体育大学 森 克己★
鹿屋体育大学 山田 理恵

■ 昼休み (11時30分-12時45分)

■ 総会 (Zoom ミーティング方式、12時45分-13時30分) 司会：伊東卓

会長挨拶：齋藤 健司

総会議事・報告：山崎 卓也、高松 政裕

事業報告、決算報告、事業計画、予算案、その他

閉会挨拶：桂充弘

■ 学会大会 (Zoom ウェビナー方式、13時30分-17時00分)

第1部：基調講演 13:30-14:20

「アスリートの行動をどうコントロールするのか

～五輪憲章のルール 50 と Athletes Activism～」

Mark James 教授 (マンチェスター・メトロポリタン大学)

第2部：個別報告 14:30-16:00

1. 14:30-14:50 「メガ・スポーツイベントの虚と実」 中村祐司会員 (宇都宮大学)

2. 14:50-15:10 【英国スポーツ法学会 (BASL) 協力企画】

「メガ・スポーツイベント『コモンウェルスゲームズ』が抱える法的問題」

Caroline McGrory 氏

(コモンウェルスゲームズ 2022 組織委員会/BASL 会員)

3. 15:20-15:40 「東京五輪を取り巻く人権ムーヴメントと Athletes Activism の今」

杉山翔一会員 (Field-R 法律事務所)

4. 15:40-16:00 「Inclusive であるべき五輪の今とジェンダー」 来田享子会員 (中京大学)

第3部：パネルディスカッション 16:10-16:40

「2021年の“Tokyo2020”のあるべき姿とスポーツ法の役割」

パネリスト：中村祐司会員、来田享子教授、杉山翔一会員

ファシリテーター：山崎卓也会員

第4部：Q&Aセッション 16:40-16:55

基調講演ご担当の Mark James 教授とパネリストを交えた Q&A セッション

【コーディネーター】

石堂典秀会員 (司会進行)